

科目名	美術	英文表記	Fine Art		平成24年3月11日		
科目コード	1013						
教員名：田中 康嗣 技術職員名：					作成		
対象学科／専攻コース		学年	必・選	履修・学修	単位数	授業形態	授業期間
全学科		1年	選	履修	1単位	演習	後期
科目目標	課題制作を通して、個性的な発想と想像力の基礎的な力を身につける。						
総合評価	授業出席、授業に対する取り組み40%、課題提出に20%、課題ごとの作品評価に40%の割合で評価する。実習主体なので定期試験は行なわない。積極的な実習参加を重要視する。						
達成度目標と評価方法	科目達成度目標			達成度目標の評価方法			
	①	ドローイング：様々な身近な画材を用いて素早くイメージを描き留める		⇒	授業終了時に提出。講評時に評価		
	②	コラージュ：印刷物やいろいろな素材を画面に切ったり貼ったりして新たなイメージを作り出す		⇒	授業終了時に提出。講評時に評価		
	③	素材工作：段ボールやスチレンボードを切ったり貼ったりして小立体作品を作る		⇒	授業終了時に提出。講評時に評価		
本科・専攻科教育目標	1	2	3	4			
		◎		○			
授業概要、方針、履修上の注意	身近な画材を用いての観察を主体としたスケッチや、言葉から発送するイメージ・ドローイング。印刷物をカラーシミュレーションして新しいイメージの画像を作る。工作素材を使っての小立体を作る。身近な造形素材や画材を用いて、自由に造形表現することにより、発想を柔軟にし、個性的な表現方法や発想力、想像力をつける。パソコンは、基本的に使用しない。						
教科書・教材	適宜自作資料等を用いる。						
授 業 計 画							
週	授 業 項 目	時間	授 業 内 容		自学自習 (予習・復習)内容		
1							
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
期末	期末試験						

16	授業ガイダンスおよびドローイング	2	授業の進み方の説明。身近なものを描く。	
17	スケッチ・ドローイング	2	いろいろなテーマを授業日毎に設定し、様々な画材を用いて実在するものやイメージを描く。	
18	スケッチ・ドローイング	2	”	
19	スケッチ・ドローイング	2	”	
20	スケッチ・ドローイング	2	”	
21	スケッチ・ドローイング	2	”	
22	スケッチ・ドローイング講評	2	スケッチ・ドローイング作品の講評・観賞会	
23	コラージュ	2	印刷物から受けるイメージを構成する。	
24	コラージュ・ミクストメディア1	2	印刷物や様々な素材を貼りこみ作品化する。	
25	コラージュ・ミクストメディア2	2	”	
26	コラージュ講評	2	コラージュ作品の講評、鑑賞会	
27	小立体制作	2	小立体を制作する	
28	小立体制作	2	”	
29	小立体制作	2	”	
30	小立体制作講評	2	小立体作品の講評、観賞会	
期末	期末試験			
学習時間合計		30	実時間	22.5
		2		標準的所用時間(試行)
備考欄				
記入無し				

学習時間は、実時間ではなく単位時間で記入する。(45分=1、90分=2)